

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

循環器疾患を合併する糖尿病患者に対する週1回投与GLP-1受容体作動薬の有効性

2. 研究の対象患者

旭中央病院で循環器内科を定期受診されている2型糖尿病患者さんでデュラグルチド皮下注を新規で導入した症例

・選択基準

以下の基準を全て満たす患者さんを対象とする

- 1) 循環器内科を定期受診している患者さん
- 2) 2型糖尿病で投薬治療を実施している患者さん
- 3) 年齢不問
- 4) 性別不問

・除外基準

以下のいずれかに抵触する患者は本研究に組み入れないこととする

- 1) 後方視的研究のため特に定めないが研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2019年1月1日～2020年7月31日

4. 研究の概要

心血管疾患の既往または心血管リスク因子を有する2型糖尿病の中年～高齢患者の血糖コントロールにおいて、デュラグルチド皮下注は有用なマネジメントの方法となりうることが、「REWIND試験」で示された。デュラグルチドは長時間作用型のGLP-1受容体作動薬であり、心血管疾患の既往のある患者において、心血管アウトカムの改善効果が報告されている。

今回、当院循環器内科を定期受診されている2型糖尿病患者でデュラグルチド皮下注を新規で導入した症例を対象に後方視的にデータを収集しデュラグルチド皮下注の有用性および安全性について短期的に検討する。

5. 研究実施予定期間

2019年10月5日～2021年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

[研究対象者背景]：年齢、性別、既往歴、合併症、処方薬

[検査値]：HbA1c、血糖値、eGFR

[予後]：導入1年後の心血管イベント発症日、全死亡日

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：循環器内科 笠井 裕平

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)